

枝川スタッフが選んだおすすめ本

枝川の本棚

★6月のピックアップ★

『五更の月』

川井俊夫/著 KADOKAWA

ISBN: 978-4-04-116634-5



“自由の対価は死だ”

粗暴な道具屋の店主が決めた、自分だけの悪党のルール。盗みはしない、家賃を滞納しない、せこい騙しはしない。けれど値のつかない道具を百万で買ったりもする。

“道具には捨てられず残された理由がある”

そこにどんな理由を見つけるかは、読み手のあなた次第。くり返し読む度に、新たな発見のある物語です。

一般書

『手に負えない』を編みなおす』

友田とん/著 柏書房

ISBN: 978-4-7601-5650-4

地下鉄の漏水対策に心を奪われ、数年に渡り観察を続けてきた著者。興味のない人には同じものにしか見えないが、一つとして同じものがなく、同じ場所であっても、時として変化している。

今まで注目したことがなくても、観察日記を読み進めていくうちに、新たな発見や変化に不思議と惹き込まれていきます。普段は気付かない、日常の可笑しさを見つけるヒントになるような本です。

『驚異の都市工学家康の創った「江戸」』

齋藤勝裕/著 シーアンドアール研究所

ISBN: 978-4-86354-492-5

今から 500 年ほど前、日本は「江戸時代」と呼ばれる平和な世の中を迎えました。

徳川家康は天下を握ると、それまでは関東の一寒村とみられていた江戸の山を崩し、海を埋め、大河の流れを変え、濠を掘って運河を作り、上水を引いて人々に新鮮な水を配りました。

本書では、江戸を家康はどのようにして一大都会へと変貌させたのかを、都市工学の観点から解き明かします。



児童書

『おなかをみせて!』

しまずかずこ 島津和子/さく
ふくいんかんしよてん 福音館書店

ISBN: 978-4-8340-8915-8

生きものをひっくりかえしてみると、びっくりする発見があるかも!?

テントウムシ、ダンゴムシ、カエル、ザリガニ、カメ……。

いろいろな生きものの“おなか”がでてきます。

じっくりかんさつしたくなるおもしろさがいっぱい。ふだんはなかなか見られない、おなかのひみつをのぞいてみよう!

0~5歳向け



『雲がおしえてくれること』

レイチェル・カーソン/文 ニッキー・マクルーア/絵
ちばしげきやく 千葉茂樹/訳
あらきけんたろう 荒木健太郎/監修
あすなる書房

ISBN: 978-4-7515-3258-4

空にうかがぶ雲は、ただ流れているだけではありません。雲の形や動きからは、風や天気、自然のつながりが見えてきます。

雲はいつも地球のことや自然のふしぎについて色々なことをおしえてくれています。

詩のようなことばときれいな絵が広がり、読んだあとはいつもの空が少しちがって見えてくるかもしれません。

小学5~6年生向け



YA(ヤングアダルト)

『僕の仕事はごみ清掃員。』

滝沢秀一/著 河出書房新社

ISBN: 978-4-309-61772-5



みなさんはどんな風にごみを捨てていますか。捨て方なんてどうでもいい? いいえ、そんなことはありません。ごみには暮らしが、捨て方には人間性が表れます。

捨てられるために生まれてくるものはない、と著者の滝沢さんは言います。このままだと50年後の東京ではごみを捨てることができなくなるかもしれません。できることからコツコツと。今年の夏はごみ捨て美人を目指しましょう! 中学生、高校生向け



枝川図書サービスコーナー

江東区枝川 3-6-16 (枝川区民館 1 階) 【TEL・FAX】 03-3647-6860

【開館時間】 9 時~17 時 【休館日】 月曜日・第 3 金曜日・祝日

2026 年 6 月発行